

本章で学習するのは、複数の事物同士の「関係」を示す表現です。「原因・結果」の関係をはじめとして、何かを「可能」にするための表現も、今回のテーマ「因果・相関」の内容を理解しましょう。間の思考の基本です。ここで目にするはずで

本課では、「何らかの原因により何らかの結果が生じる」という関係を示す表現を学びます。日本語では、「～すれば～する」「～だから～した」のように英語の if 節、when 節、because 節のような接続詞節と結びつきやすい表現が用いられるので、学校英語で習うのは、主としてこうした複文の表現ですが、より「英語的」なのは、「因果」動詞を用いた主語 + 述語 + 目的語の文型に代表される単文です。こうした形の英文を自由に使いこなせるかどうか、実務翻訳上達への最も重要な関門だと言っても過言ではないでしょう。

英語では if 節や because 節で表現している内容を名詞句で言い換えられるわけですから、訳す場合は、語と語の間に隠された部分の意味をきちんとくみとってあげなければなりません。要するに、主語 + 述語 + 目的語のような構文は、シンプルであるからこそ、日本語の発想から遠く、その分、英→和、和→英の変換が難しくなっているのです。

「逐語訳」からの脱却は、現されるものではありません（意味を論理的に考えている）

学習のテーマをよく読んだら、まずは基本例題で力試し。ここでは分からない表現があってもあまり辞書に頼らず、自分なりに意味を想像してみてください。

基本例題

次の英

- ① **The speed and low cost of computations have resulted in new computer-oriented techniques.**
◆ computations 「(コンピュータの) 計算」
- ② **An analysis of the specimen showed the presence of additives harmful to the human body.**
◆ additives 「添加物」
- ③ **Careful workmanship will eliminate surface flaws.**
*機械作業に関する文。
- ④ **Revenue of a business adds to the owner's equity and expenses decrease the owner's equity.**
*企業会計に関する文。◆ revenue 「収益」 expenses 「費用」 owner's equity 「所有者持分」
- ⑤ **The facilities enhance the attractiveness of the condominium.**
◆ facilities 「(マンションの) 施設」

解説



▶例題① →表現ノート2

The speed and low cost of computations have resulted in new computer-oriented techniques.

訳例①

計算の速度と低コストは、新たなコンピュータ志向の技術という結果をもたらした。

result in という因果表現は、「出来事」「行為」「発生」「状態・状況」など、さまざまな結果をもたらす関係を示す表現として用いられます。したがって、この文がどのような因果関係を示しているかは、主語と目的語の意味を考えて推定する必要があります。

訳例では、speed や low cost (speed は、「速度」でなく a very fast rate at which something happens or is done の意味で読むべきでしょう) がそのまま techniques 「技術」を生み出しているようなことになっていますが、そんな因果関係があり得るのでしょうか。技術を生み出すのはあくまで「人間」なので、ここには「人間の主体性」というものが「含意」されているはずで

英語の result in という表現をそのまま「～は～という結果をもたらす」と機械的に訳してしまうと、その前後に置かれた主語と目的語の関係を無視することになってしまいます。日本語にする場合はその人間の主体性（つまり「開発する」という行為）を補って訳さなければいけません。

つまり、「原因」である computations の speed と low cost は人間にとってのメリット、そのことを考慮した人間の主体性を媒介として前者から後者が result するという関係を、きちんと日本語で表現するのが本当の「直訳」=「正しい訳」なのです。その際、techniques が複数形であるという点、動詞の時制が現在完了形であるという点も訳出すると、次のようになります。

改訳例①

(コンピュータは)迅速かつ低コストの計算が実現できるということから、これまでにさまざまなコンピュータ応用技術が開発されてきた。

*

*

基本例題を訳したら、「解説」をマイページからダウンロード。原文の意図を正確に取り取り、簡潔かつ自然な日本語で翻訳するための考え方を理解します。

試料の分析は、人体に有害な添加物存在を示した。

通常、日本語で「～は～を示す」という場合は、「この図は～を示す」「この表は～を示す」のように、表示する媒体の類を主語にすることになっています。したがって、analysis 「分析」という「行為」が何かを「示す」というのは不自然な日本語ということになりますが、これは単に日本語の書き方に問題がある「悪訳」ではなく、英文の理解に問題がある「誤訳」なのです。

人間や媒体でなく行為や現象を主語とする場合の動詞 show は、「認識をもたらす関係」を示す因果表現なので、その原因である行為が analysis であると捉えて訳します。結果の表現では「～が分かる」と、「認識する主体=人間」の立場から訳出するのが原則です。

改訳例②

試料を分析したところ、人体に有害な添加物が含まれていることが分かった。

*

*

*

▶例題③ →表現ノート4

Careful workmanship will eliminate surface flaws.

訳例③

慎重な作業をすれば表面の傷が除去されるだろう。

～例題⑤までつづく

ここまで1日目～3日目

1 「出来事をもたらす関係」を示す表現 cause、result in、lead to、bring about、mean

- 文の特徴»
- ・主語は「出来事」「行為」「物質」「量」を伴う「来事」。
 - ・目的語が「出来事」を示す「形容詞+名詞」。

翻訳のヒント»

- ・ cause 「～は～を起こす」→「～によって～が起きる」
- ・ lead to 「～は～につながる」→「～によって～することになる」
- ・ mean 「～は～を意味する」→「～によって～することになる」

👉 目的語の形容詞は、述語的に訳すと自然な日本語になる。

【例】 In the case of metallic conductor, small charges can cause conduction.

「金属導体の場合、電荷が小さくても伝導が起きることがある」

Recent plummeting temperatures could lead to more fires.

「最近急に温度が下がっていることで火事が増える可能性もある」

A larger room means that some students will be farther away from the monitors.

「教室が広くなると、一部の生徒とモニターとの距離がもっと開くことになる」

2 「行為をもたらす関係」を示す表現 cause、result in、lead to、bring about、trigger、spark、spawn、breed、precipitate、prompt、mean

- 文の特徴»
- ・主語は「出来事」「結果」「状態」。目的語は基本的に「行為」（causeの場合は主体+to不定詞）。
 - ・trigger、spark、precipitateの目的語は多くの場合「集団による激しい行為」（「衝突」「略奪」「犯罪」等）。
 - ・spawn、breed、precipitateの目的語は、「行為者」（Success breeds imitators.「誰かが成功するとマネする人間がどんどん出てくる」のような）か「行為の結果」。
 - ・promptはただ「うながす」のではなく「（うながして）させる」の意味。

翻訳のヒント»

- ・ cause 「～が～を起こす」→「～により～は～することになる」
- ・ spawn 「～が～を生み出す」→「～により～が起きる（起こされる）」
- ・ trigger 「～が～の引き金をひく」→「～により～が起きる（起こされる）」
- ・ prompt 「～は～に～することを促す」→「～により～は～する」

👉 目的語が人間の作った作品や技術等である場合は「行為」を推定して訳出する。

テキストの例文を正しく理解するための「表現ノート」です。動詞の働きを独自に分類・整理したもので、どれも英日/日英の翻訳をする上で役立つ重要な表現ばかりです。

6

「条件」 depend on、vary with、change with、determine、establish

- 文の特徴»
- ・ depend on、vary with、change with は主語が「条件」「性質」(強度、粘度等)。目的語がその「決定要因」。
 - ・ depend on の目的語である「決定要因」が性質でない場合は不可欠の要素を指す。
 - ・ determine と establish は「決定要因」が主語、「条件」が目的語となる。

翻訳のヒント»

- ・ depend on 「～は～に依存する」→「～は～によって異なる」「～にとって～は欠かせない」
- ・ vary with 「～は～により変化する」→「～は～によって変わる(異なる)」
- ・ determine 「～は～を決定する」→「～によって～は変わる(異なる、決定される)」

【例】 Economic growth depends upon goods moving efficiently and safely.

「経済の成長には、商品が効率的かつ安全に移動することが不可欠である」

The reading speed and comprehension varies with the subject matter.

「読む速度と理解度は、読む素材によって変わってくる」

The severity of the condition determines the impact it has on a person's life.

「状態の深刻さによってこれが人間の生命に与える影響が変わってくる」

7

「認識をもたらす関係」を示す表現 show、illustrate、suggest、find、reveal、disclose、explain

- 文の特徴»
- ・ 主語は「出来事」「行為」「状況」、目的語は「判明した事実」。
 - ・ show や illustrate が事実を判明させるのに対して suggest は事実を示唆する。
 - ・ find はとくに主語が「調査」「実験」の類。
 - ・ explain は何らかの「事情」を主語とし、「理由」を示す表現。

翻訳のヒント»

- ・ show 「～は～を示している」→「～によれば～だという」「～により～であることが分かる」
- ・ find 「～は～を発見する」→「～によれば～だという」「～により～であることが分かる」
- ・ explain 「～は～を説明する」→「～によりなぜ～かが分かる」

【例】 The survey shows the average age of journalists to be 41.

「この調査によるとジャーナリストの平均年齢は41歳だという」

A recent study finds that one in four boys age 13-16 has high blood pressure.

「最近の調査によれば13歳から16歳の男子は4人に1人が高血圧だという」

This fact explains why such a large number of lives were taken by the eruption.

「この事実から、この噴火でなぜこれほど多くの人命が失われたか分かる」

表現ノートを参考にして
練習問題に取り組みます。

《練習問題》

次の英文を和訳してください。

- 1) **Foreign materials on the fixture can produce an error in working location.**
foreign material「異物」 fixture「固定台」 working location「工作物の位置」
- 2) **Reforming state enterprises will mean as many as 50 million additional jobless consumers.**
state enterprise「国有企業」
- 3) **Machine tool sales to Russia created a great fuss.**
machine tool「工作機械」
- 4) **Continued rampant inflation leads to social collapse.**
- 5) **Its hardness depends upon carbon content.**
hardness「硬さ」「硬度」 carbon content「炭素含有量」
- 6) **The heat brought about the chemical reactions.**
- 7) **The slowdown in bank lending caused shifts in the composition of borrowers.**
bank lending「銀行貸出」
- 8) **The effects of inflation created difficulties for many companies.**
- 9) **These problems, which precipitated the budget stalemate in Washington, are rooted in the federal government's failure to balance its budget.**
budget stalemate「予算審議の停滞」 balance the budget「財政を均衡させる」
- 10) **Lower fracture strength of the material will produce surface flaws.**
fracture strength「破壊強度」

三 解説

練習問題の「解説」もマイページからダウンロード。
自分の訳と比較して、より良い翻訳に近づけるため
に改善できるポイントを学びましょう。
「表現ノート」の振り返りも行います。

1) Foreign materials on the fixture can produce an error in working location. →表現ノート 4

主語は物質ですから、この場合の produce は「発生をもたらす関係」を示す因果表現です。foreign materials「異物」は無冠詞、can は現在形なので、「異物」が「あれば」という仮定の意味になります。error は行為の「誤り」ではなく location「位置」の「誤差」。

固定台の上に異物があると、工作物の位置に誤差を生じることがある。

2) Reforming state enterprises will mean as many as 50 million additional jobless consumers. →表現ノート 1

主語が「国有企業の改革」、目的語が「失業」なので、mean の意味が「概念の説明」でなく因果表現であることは明らかです。原因は「改革」という「行為」、目的語は「失業」という「現象」なので、「改革を実行すれば～が失業することになる」となります。

国有企業の改革を実施すれば、さらに5千万人もの消費者が失業することになる。

3) Machine tool sales to Russia created a great fuss. →表現ノート 3

この文でも「売却」という「行為」が「原因」なので、「～したことで」「～したために」のように訳します。create は「騒ぎ」などの「状況」を目的語とすることが多い因果表現です。

ロシアに工作機械を売却したことで、大変な騒ぎが起こった。

4) Continued rampant inflation leads to social collapse. →表現ノート 3

原因が一定の時間をかけて結果をもたらすような関係を示す表現としてよく用いられるのが lead to。現象の継続を示す形容詞として多用されるのが continued ですが、この場合、述語的に訳すと自然な日本語になります。

激しいインフレが続くと社会が崩壊する。

5) Its hardness depends upon carbon content. →表現ノート 6

depend on は「条件の決定」を示す表現で、「決定要因」である目的語が主語の属性を示している場合は、通常、「～は～により変わる」「～は～により決まる」などと訳されます。carbon content「炭素含有量」は主語の属性と考えられるので、このように訳せるでしょう。

その硬さは、炭素含有量によって変わる。

BETA 1

添削課題

練習問題でさらに履修ポイントを確認し、
いよいよ添削課題に挑戦です。課題は毎回、
和訳・英訳合わせて6問。訳文をよく推敲し、
誤字、脱字がないかチェックしましょう。

A 次の英文を和訳してください。

- 1) The economic recovery expected for 2001.
- 2) Mixing some fibrous material with an adhesive produces the insulating materials.
- 3) The ductile material in the bearing enhances its ability to resist heavy shock loads.

B 次の和文を英訳してください。

- 1) 試料の保管が適切でないと、その表面が汚染されることがある。
- 2) これ以上外国人労働者が増えると、現地労働者との摩擦が増えるだろう。

C 次の英文を和訳してください。

Drilling holes in sheet metal is generally difficult and often results in damaged work. When drilling thin material, the standard drill does not produce a clean, round hole in the material. As a result, special drills should be used when drilling sheet metal.

.....

【用語】

- A** 2) insulating materials「断熱材」
3) ductile material「延性のある素材」
bearing「ベアリング」「軸受」
shock loads「衝撃荷重」
- B** 1) 「試料」specimen
- C** sheet metal「薄板金」

ここまで12日目～14日目



添削が返ってきたら、トレーナーからのフィードバックを
活かして次の課題に取り組みましょう！

※BETA 12まで繰り返し